

地方議會に道路鋪裝問題を視る

鋪 裝 子

は し が き

支那事變も、長期膺懲戰即長期建設戰と云ふ世界未曾有

の戰時體制の階段に入りたる今日に於ては、あらゆる分野に互り、物動計畫の強化と、戰時經濟の調整を一層強固に庶幾せねばならぬのである。併て之に即應するが爲に、道路鋪裝政策を確立せねばならぬことも亦其の重要な一に屬するのである。即ち直接の軍需資材であつて又其の大部分が輸入品であるガソリンやゴムを強度に節約し、自動車保有量の増加を期し、道路維持修繕費の輕減を企圖する上から、誠に緊要且つ重大である。更に國民保健衛生上、或は我國食料政策上缺くべからざる農作物の増産計畫の上か

らも忽緒に付すべからざる企劃である。しかも此の事は獨り緊急なばかりでなく、最も恒久的の政策として、恐らく時局下萬人の期待する所であらう。

斯様な見地から、客冬の府縣會の内外を覗いて、先づ以て此の國策的鋪裝問題が地方に於て如何に取扱はれたか。其の所論を拾つて民意反映の尺度とせう。尤も紙面の都合上其の要旨を極度に壓縮したものであることを充分お斷りして置く。

青 森 縣

近時産業の進展に伴ひ、常々重要路線の改良鋪裝の促進を陳情せられて居り、去る縣會に於ても此の點を論議せら

れ、殊に東北地方の特異性に鑑み、改修費の増額を要求せる實狀で道路並舗裝政策の確立を翹望した。

岩 手 縣

道路舗裝問題に付ては獨り本冬のみならず近年の縣會に於て表面上論議せられたるものなきも、之れは縣經濟上單獨縣費にては舗裝の實現を極めて困難と思惟したるに因るものと察せらる。

宮 城 縣

當縣に於ては、道路舗裝問題に付例年相當論議せられ、熱望せられ、未解決の儘、今日に至れるもの仙臺市内に於ける國道及指定府縣道、石卷市内に於ける指定府縣道及その延長、石越停車場より若柳町に至る道路を始め枚舉に遑あらずして、本縣會に於ても相當論議又は熱望せらるゝと豫想せらるゝ本件が一見靜穩裡に終始したのであつて、其の原因は今次の事變人的物的總動員の際に於ては、忍從の

止むなきと認められたるに依るらしいが、少しく樂屋裏を覗いて道路問題を聽いて見る。

前述せるが如き仙臺市内石卷市内を始め多年縣會に於て要望せられたる道路舗裝の論議熱望が、今回の開會中に現はれざりしは次の如き原因によるものと認む。即ち論議は已に盡されてゐる事。殊に今次の事變以來ガソリン節約が國を擧げて叫ばれ實行されてゐるを以て、もつと早く舗裝を完了して居たら國家も府縣も民衆も、如何に恩惠を受けしならんとの後悔に類するものを感じてゐる。昨今は更にガソリンよりも、ゴムタイヤの方が統制の結果供給不足なりと傳へらるゝに至りては尙更である。

次は事擧げせぬ國民性である。日清日露の兩役當時に於けると同様、かゝる國民的協力が要求せらるゝ場合には事擧げせぬを以て、古來の傳統とする我國國民性は今冬の縣會に於ても表はれ、先づ皇國のため皇軍將士のため開會劈頭に於て默禱一分間が捧げられた。

かゝる縣會の空氣なりしを以て議場に於ける論議を避け

直接縣當局に面接し、談笑の中に必要性が強調せられた。即ち前述の如き箇所にはける道路の舗装を始め軍事上需工業上に於ける輸送道路に就て屢々陳情の行はれたるは特に未だ曾つて無き回数に達せり。

皇軍第一線に於て道路の完備事業こそは彈雨下に於てさへ實行せられてゐるにも不拘、銃後の道路は此の儘にて放置せられて良いだらうか、長期戦となればなる程ガソリンの節約は必要となり貨物自動車は拂底するに至るべし。而も運輸事業は益々急速なる動作を要求するに至る事第一線と銃後と發許の差があるだらうか。

制限外荷重積載の傾向、高速度運轉の傾向が益々大ならんとする自動車交通時代には橋梁と言はず道路と言はず之に適應せしむるの必要あるは此れ亦論議は已に盡されてゐるが、鐵材を多く要する橋梁は時局柄暫く措き砂、砂利、セメントのみを主要材料とする舗装工事こそは戰時統制物資（ガソリン、ゴム、及自動車）の積極的節約を計る所以では無いだらうか、而も砂利、砂は無限に在り、セメント

に至りては時局柄にも拘らず六割以上の生産制限を今以て實行中とか。以上は今冬縣會の樂屋を通して觀察を加へたる結果である。

秋 田 縣

昭和十三年通常議會に於ては全會期を通じ、種々國府縣道の路面舗装促進に關する質問、希望あり、遂に全會一致左記意見書提出の可決を見た。

尙最近平鹿郡横手町、淺舞町、雄勝郡湯澤町に於ては、工事費の半額寄附の決議を経て、町内主要府縣道の舗装を縣に請願せる等、地方に於ても其の必要を痛感するに至り道路舗装問題は縣民の輿論となり又本縣必須の重要問題の一となつた。

意見書

一、國道舗装ニ關スル件

本縣へ農産並ニ鐵産、木材等、東北隨一ノ資源ヲ有スルモ、之カ開發充分ナラス、而モ對滿鮮航路ニ於テ最短距離ニ在ル

本縣船川、土崎兩港ノ完成ヲ目前ニ控ヘ、東北ノ物資ヲ開發シテ滿鮮、北支ニ送り、以テ大陸政策ニ呼應セントスル趨勢ニ在ルノ秋、比較的鐵道ノ便ニ惠マレサル、本縣地方ノ國道ヲ鋪裝シ、トラツク、バス等ノ運行ニ備フルハ、目下喫緊ノ要務タルヲ信ス、政府ハ此ノ點ニ鑑ミ、國營直轄ヲ以テ本縣地方ノ國道鋪裝工事ヲ施工セラレムコトヲ望ム

右府縣制第四十四條ニ依リ意見書提出候也
昭和十三年十二月十六日

秋田縣會議長 金子爲吉

內務大臣 末次信正 殿

意見書

一、縣内主要都市ニ於ケル國府縣道鋪裝ニ關スル件

近時ニ於ケル交通運輸ノ狀況ニ鑑ミ、縣内主要路線殊ニ都市ニ於ケル車馬ノ交通繁劇ナル箇所ニ在リテハ鋪裝工事ヲ施工スルニ非サレハ到底完全ナル道路トシテノ使命ヲ全フシ難シ仍テ縣ハ縣内主要都市國府縣道ニシテ鋪裝未完成ノ部分ハ速カニ鋪裝工事ヲ施行セラレムコトヲ望ム

右府縣制第四十四條ニ依リ意見書提出候也

昭和十三年十二月十六日

秋田縣會議長 金子爲吉

說苑

秋田縣知事 佐々木芳遠 殿

山形縣

道路鋪裝問題に關しては、常に縣會議員等から速進の陳情を受けて居る狀況であるが、客冬の縣會に於ては別に論議はなかつた。

福島縣

客冬の縣會に於ては左の如き建議が提出せられた。

福島市内道路鋪裝ニ關スル建議

福島市内國道豊田町ヨリ五十邊マデ（國道四號線）又縣道福島驛前ヨリ福島電鐵線ニ沿フテ會根田藤橋鐵工場ニ至ル線ハ（府縣道福島庭坂線及國道五號線）鋪裝スルノ要切實ナルモノアルニ付一ハ內務省ニ對シ一ハ縣トシテ工事施行ニ關シ善處セラレシコトヲ

昭和十三年十二月 日

福島縣會議員 佐藤元治

菅野喜三郎

外四名

建議案

一、國道六號線平市街地内舗装工事並ニ屈曲幅員改修工事速進ノ件

右國道六號線中市字本町通りへ昭和九年十一年度ニ於テ舗装工事ヲ實施シタルモ字研町及長橋町並六丁目七丁目へ未ダ舗装工事ヲ施サス交通量縣下第一位ヲ占ムル狀況ニ付急速鋪装工事ヲ實施セラレ度

昭和十三年十二月十四日

福島縣會議員 野崎滿藏

同 蓮沼龍輔

外 三名

茨城縣

問 近來自動車等の重く且高速度の交通物體が、益々重要な地位を占めて來た爲、道路を損傷することも多いと見へ路面が段々悪くなつて來たように思ふが、是等に對しては從來採り來つた砂利撒布の方法を以つてしては完璧を期し難いと思はれる。勿論技術も一段進歩し、砂利道の修繕方法も從來に比べて研究を重ねられた跡は充分認め得るので

ありますが、道路上を交通する物體は益々重くなり、益々速くなりつゝある今日、茨城縣内に於ける幹線及市街道路は砂利道ではこれ以上の交通量を容れるは無理ではないかと思はれる。是等の點に付き、當局は如何なる對策を持つて居るか。

答 御承知の通り道路維持修繕に付ては日夜心膽を碎いて居るのでありますが、縣財政上の都合もありまして維持修繕費は段々少くなつてまいり、是に反し交通量は益々急激な増加を示しつゝありまして道路維持は非常に困難に陥りつゝあります。過去に於ては一杆當維持修繕費は百二三十圓もあつたのでありますが近年は七十五圓位しかないのであります。交通量は百二三十圓當時に比べまして或場所は十倍或る場所は二十倍にも増加して參つて居ります。又材料は數倍に騰貴して居ります。然るに幸ひにも第一線の道路土工夫及方面擔當技術員の努力に依りまして今日尙路面が相當良好で、どうやらその用を満して居る様な状態にあるのであります。

問 従来舗装は贅澤なものだといふような觀念があるようでありすが、此の點に付てはどう御考ですか。

答 従来屢々そういふ議論を承りますがこれは認識不足も甚だしいので、従来舗装の効果といふものはあまり發表されませんでしたので、そういふ誤解を生じたのであります。最近では相當詳細な研究が遂げられて居ります。先づ相當交通量のある道路即ち大體自動車交通量三百臺内外以上の道路では維持修繕費が經濟になりますのみならず自動車運轉費の軽減となり速度も増して自動車は充分其の機能發揮致しますので運賃が安くなり直ちに縣民に利益を齎します。特に現在の非常時局下に於きまして最も必要な軍需品たるガソリンの節約には舗装は缺くべからざるものであると言はねばなりません。其の他塵埃や泥濘の飛散による人體、動植物等に及ぼす害毒を除去し又交通者をして氣持良く易々と通行せしむる等の利益も亦決して無視出來ない効果であります。従ひまして此の際舗装計畫を確立することとは焦眉の急務と致しますのであります。何しる縣財政

の都合もありますので、充分とは参りませんが大體前年度通りの豫算を計上致したのであります。之れは將來國庫補助等の途も開かれる様になりましたならば、之に呼應して、繼續費でも設定して進みたいと考へて居る次第であります。

以上の如き論議が行はれたる結果は左の如き希望條項を付して土木關係豫算を議決した。

希望條項

- 一、市街道路及幹線道路を舗装する爲繼續費を設定し一定計畫に基き最近年度より之を實施すること
- 一、國府縣道の改良を大體に互る一定計畫に基き執行する爲繼續費を設定し最近年度より實施すること
- 一、災害の防止軽減の爲根本對策を速に樹立すること
- 一、道路維持修繕費を増額すること

栃木縣

昨冬の縣會に於ては、別項舗装問題に付て表面化したる論議はなかつが、各議員を通じ其の必要を痛感し、屢々陳

情等を爲して居る。

群馬縣

客冬の縣會に於ては、特に論議はなかつたが、最近軍需工業の急激なる發達に依り、物資輸送に交通量激増し、爲に一層鋪裝の必要を痛感して居るのであるが、左記路線の鋪裝は縣會一致の要望であつた。

記

- 一、國道十號線 碓氷郡 白井町 地内
- 一、國道九號線 前橋市 勢多町 北橋村 地内
- 一、府縣道石山前橋線 勢多郡 木瀬村 地内
- 一、府縣道石山前橋線 佐波郡 荒砥村 地内
- 一、府縣道石山前橋線 新田郡 笠懸村 地内
- 一、府縣道石山前橋線 桐生市 赤堀村 地内
- 一、府縣道石山前橋線 前橋市 伊勢崎町 地内
- 一、府縣道石山前橋線 佐波郡 伊勢崎町 地内
- 一、府縣道石山前橋線 新田郡 太田町 地内
- 一、府縣道石山前橋線 桐生市 毛里田村 地内
- 一、府縣道石山前橋線 高崎郡 伊勢崎町 地内
- 一、府縣道石山前橋線 佐波郡 伊勢崎町 地内
- 一、府縣道石山前橋線 新田郡 太田町 地内
- 一、府縣道石山前橋線 太田郡 澤野村 地内

埼玉縣

- 一、九號 伊勢崎本庄線 佐波郡 伊勢崎町 地内
- 一、五號 滋川伊香保線 群馬郡 滋川町 地内
- 一、二號 滋川沼田線 利根郡 沼田町 地内
- 一、七號 吉井富岡線 多野郡 吉井町 地内
- 一、吉井高崎線 多野郡 吉井町 地内

本縣に於ては、特に論議はなかりしも、十四年度鋪裝費豫算として、十一萬五千圓を議決し、之を以て重要路線及街路を鋪裝するのであるが、一面議員個々には地元を代表して相當鋪裝の要望あり又縣下市町村に於ても此の要求は漸次増加しつゝあつて、今や鋪裝施設の問題は澎洋たる輿論となり進展しつゝある。

千葉縣

本縣に於ては、昭和七年度以來相當道路鋪裝の經費を計上し、工事を實施中にして、昨冬の縣會では特別な要望は

なかつた。

東京府

本府に於ては昭和五年冬季臨時失業應急事業による舗装工事を施行以來、國道府縣道の舗装著しく普及し、昭和十二年度末に於て八號國道三八、七九六米の全部、指定府縣道一七三、五四一米の中一三八、二七五米又其の他の府縣道六一七、二三〇米中二〇一、九四三米の舗装を了し主要道路は殆んど舗装せられ、改修により地盤の安定を俟つ箇所又は幅員狭小にして交通妨き箇所等を残せる状態にして、尙昭和十三年度に於ては五萬圓、昭和十四年度に於ては參萬五千圓の豫算を以て相當面積の舗装工事を施行の豫定である。従つて道路改修に於ては、相當論議や陳情等あるも舗装に於ては、數年來別段の論議はない。

神奈川縣

本縣に於ける昭和十四年度豫算は、政府の方針に基き一

般豫算はいづれも減額せられたのであるが、道路舗装費に於ては前年度豫算額を其の儘を踏襲し得たのであつて、之が爲に論議せらるゝに至らずして、一瀉千里可決せられた状況である。

新潟縣

本縣の國府縣道の延長は四千四百四籽であるが、其の内舗装済のもの僅かに二十一籽餘に過ぎない。夫れで豫て總額百十萬圓、五箇年舗装計畫と云ふものが、理事者の懷中にあるのであるが、未だ實現の域に達して居ない。従て從來は道路指定修繕費の一部を割いて舗装を年々施行して來たのであるが、昭和十二年の縣會に於て、提案五萬圓の指定修繕費が、縣會に於て二萬圓を増額して舗装工事の施行を確保し、十三年度に於ては四萬圓の舗装工事を爲した。十四年度に於ては、提案七萬圓の指定修繕費に對し、二萬圓を新年度に入つてから追加する希望が條件として附されて議案は通過した。従て十四年度に於ては、十三年度より

も更に多額の鋪裝を爲し得る筈である。

富 山 縣

別段論戰としては表面化したものはなかつた。これは政府の起債抑制方針に伴ひ、單獨縣費を以てしては實現困難なるべきを察したるが爲に因るものゝ如きも、縣下各地に於ける鋪裝熱は随分と陳情、請願等となつて現はれて來て居る。

石 川 縣

道路鋪裝に對して縣民が如何に熱望してゐるかを一、二拾つて見ると、今冬の縣會に於て金澤七尾間の全線改良をなすことゝなり其の所要事業費百七十萬圓の議決を見たのであるが、本線の重要性に鑑みて改良と共に鋪裝を実施せられ度いと云ふ尤な希望が數次地方民及縣議間より熱心に希望せられたのであるが、工事費九十萬圓を要する關係上止むなく鋪裝を後年度に期待するより外なかつた次第であ

る。

又金澤湯涌温泉間府縣道約一十軒は昨年未全線の改良を完成したのであるが砂利道である爲改良効果を充分に期待し得ない憾もあり一面觀光道路としても利用され交通量も多いのと將亦降雪の多い所であり、除雪作業の利便等から見ても鋪裝が望ましいので地元から數次に互り陳情や請願に接してゐるが之亦財政上から未だ實施も出來ない狀態であるが、地元には其の促進策として鋪裝費を一時立替支辨することを條件として鋪裝實施を希望して居る等其の熱意には驚くものがある。尙此の外に於ても市街地等に於ける未鋪裝區間の鋪裝に付ての請願や陳情は數十件に達して居り延長約十四軒工費約三十萬圓の見込であるが、何れも敍上の様な譯で其の實施は見込薄の状態でせめて道路の新設、改良と同様政府に於て鋪裝に付ても助成促進の方法を講じられんことを切望してゐる次第である。

福 井 縣

道路維持費、揮發油及ゴムの節約其の他種々の見地よりして道路舗装の緊要なる事は昨年通常縣會に於ても要望され就中、福井、敦賀兩市を始め武生、大野、勝山、小濱、芦原及丸岡等の各町内に於ける街路は勿論指定府縣道福井加賀吉崎線中福井芦原間國道十二號線中、第三十六聯隊營門より鯖江驛間、國道三十五號線中、第十九聯隊營門より敦賀驛及福井陸軍病院前等は時局柄一日も早く施工せられ度しと絶叫された。

山 梨 縣

道路舗装問題に付ては、相當關心を有するも、何しろ逼迫せる縣財政の現状と、知事の豫算編成方針の説明にある如く、國庫補助の伴ぬ事業は時局上必要なるもの以外は認めざりし趣旨とを體し、議題外に互つては餘り論議はなかつた。

長 野 縣

税 苑

問 燃料國策の見地と貨物運賃輕減による國力涵養の見地とより、長野縣に於て消費する「ガソリン」の約九割は自動車燃料であつて、今假りに道路舗装の普及によつて、一車一日平均一ガロンの燃料を節約し得るものとせば、縣内二千六百十五臺の自動車による一ケ年の「ガソリン」消費節約量は、九十五萬四千五百ガロン、金額にして六十六萬八千圓と云ふ莫大なる數字に達するが故に、舗装の促進を圖ることは、燃料國策の線に沿ふものと謂ふべきのみならず、生産貨物の運賃輕減に伴ひ生産力の擴充、長期經濟と力の涵養にも資することとなり、まさに一石二鳥の方策戰謂ふべきである。

答 舗装道路が交通經濟上に及ぼす利益の甚大なるものあるは、今更ら論議の餘地がないが、近時縣下の國道や府縣道の狀況を見るに、數年前に比し多少低下せるものゝ如く認めらるゝのは、頗る遺憾である。固より自動車交通の激増に伴ひ、砂利道維持の困難が加重せらるることは明白なる事實であつて、道路維持費の増崇を來すことは不可避の

ことであるが、修繕費の増額によつて路面維持の完璧を圖るが如き消極的方策を採るよりは、世上傳らるゝが如く、舗装道路の維持費が砂利道に比し其の三分一を以て足るものとせば、此の際寧ろ交通頻繁なる幹線道路の舗装計畫を樹て、その實施によつて道路修繕費の節約を圖るべきである。

問 都市及其の附近に於て、自動車交通の頻繁に行はるゝは、文化の高度化を象徴するものとして慶賀すべき現象であるが、砂利道の晴天時に於ける塵埃、降雨時に於ける泥土の飛散が、沿道居住者の保健衛生に及ぼす影響はもとより、其の生業に及ぼす損失は甚大なるものであるが、又沿道の農耕地に於ては、作物の生育生産に被害あるものと思惟されるのみならず、耕作者や通行者の心理上に及ぼす不快の念も決して看過すべからざるものであるが故に、速に舗装を施し、沿道の不利益を除却すべきである。

答 本縣の如く地勢、風土、氣候等が、道路の管理に最も悪い環境にある土地に於て、力強い所論を聽くことは、從

來舗装を贅澤視したる風潮が是正せられ、其の認識が深められて來た證左であつて、路政當局としては洵に欣快にたへない次第である。此の機會に於て更に舗装の普及促進を圖るの緊切なるを痛感するのであつて、政府の舗装政策の確立と相俟つて今後大いに努力したい覺悟である。

岐 阜 縣

本會議に於ては、道路舗装に關し別段の論議はなかつたが、委員會に於ては、其の普及實施に關して熱心なる希望があつた。

靜 岡 縣

問 「前略」土木費關係は此の戦時に對しまして（中略）道路橋梁土木事業の完備は地方産業の開發振興の根幹を成すものであり又銑後生産力の擴充を生ずるのである。かういふ様に御説明がありました、その通りであります文化と産業と土木事業といふものが大なる關係を持つて居ると

とは御説明の通りであります。殊に本縣は所謂土木縣であると言つても過言で無いと言ふ状況でありますが、まだ未改修の産業道路、鋪裝等爲すべきものが山積して居る状況であります。又外國人は我が國の道路を見ましてどれが道路だと言つて質問をするさうであります。我が國の國道を見てもこれは道路ではない所謂道路は殆んど鋪裝して居るものが道路である様に外國人は見てゐるさうであります。又反對に吾々が支那へ行きまして支那の建設してある都市といふのを見ますと非常な立派なる道路でありますが一朝その近在へ這入ると殆ど道路といふ道路がない様な状況であります。之を對照いたしますと所謂文化なるものと道路なるものは切つても切ることの出来ない關係を持つて居るといふことを如實に物語つて居ると思ふのであります。而して土木事業の如きものは改良豫定の道路をそのまゝにして置きますと（中略）殆ど山積した所の産業道路は何時間題が解決するか、百年の河清を待つ感があるのであります。殊に最近交通の頻繁である所の國道及び重要府縣道に對し

ましては速に鋪裝をして所謂國策に順應するといふことが最も適當だと思ふのであります。なぜならば鋪裝の利益は申上る迄もなく衛生上から見ましても交通事故の上から見ましても殊に支那事變下の今日にありてはガソリンの消費節約と云ふ點より特に必要だと思ふのであります。（中略）災害は本省から親しく状況を視察せらるゝ結果案外樂に進捗するのであります。此の點を見ましても本縣の當局は實際問題を提げて本省に交渉いたしました斯かる問題の解決を一日も早くして頂きたいといふ希望を持つて居る者であります。

問 「前略」道路に關係します鋪裝の問題であります。之につきましましては先日二十九番大塚君から質問もありません長官の御答も伺つて居りますが私は静岡下田線の中三島町より修善寺間の縣道鋪裝につきましまして御伺ひたいと思ふのであります。この縣道鋪裝につきましましては（中略）三島町外七ヶ町村の負擔組合を造りましたが起債の關係か何か色々な理由は御座いませうが中止の状態にありますか

舗装だけは是非特別の御配慮を願ひまして地方開發の爲に出來得るだけ進行を願ひたい。尙左記意見書が全會一致賛成の下に提出せられた。

意見書

七、國府縣道中一部舗装工事ヲ施行シタルモノアルモ大部ハ舊來ノマ、ニシテ交通運輸上將衛生上障害少ナカラス縣ハ國道並重要府縣道ニ對シテハ速カニ舗装工事ヲ施行セラレムコトヲ望ム

右府縣制第四十四條ニ依リ意見書及呈出候也

昭和十三年十二月十六日

靜岡縣會議長 加藤 七郎

靜岡縣知事 山崎 巖殿

愛知縣

舊冬の縣會に於ては、縣下全般的な主要道路の舗装完備は緊要なるものとし、其の實施狀況を質し特に「府縣道名古屋犬山線の如き交通量及び軍事上の關係より一日も速に舗装すべき必要ありとの理由を以て之が計畫如何」を論議せ

られ、縣當局としては「重要な指定府縣道の一として國庫補助の下に着々改良を急ぎたる次第で、其の路面舗装の急務なることを認むるも多額の工費を要するので、將來國庫補助等の詮議があれば格別目下の縣獨力を以ては困難なる爲考究中にして成案なし」との旨を應答するの已むを得なかつたのであるが、縣會に於ける空氣は、道路の舗装は實に軍事生産擴充等、新東亞建設の國策に關聯して重要な事案なるを以て、政府當局に於て此の際萬難を排し、速に其の促進助成策を確立し遺憾なきを期せられむことを希望するものが頗る濃厚であつた。

三重縣

本縣に於ては從來から道路改良費の中に舗装費を包含せしめ地元の熱望の地點から之が施行を企劃して來たのであるが、其の個所の選定に付ては隨分當局を悩ます程の要望振りである。たゞ今冬の縣會に於ては別段の論議はなかつたのであるが、之れは獨り道路舗装問題に限らず、一般豫算

其のものが大した論議がなかつたまでのことである。

滋賀縣

本縣の道路舗裝費は豫算面上の便宜から、道路改修費中に計上してあるので、縣會に於ては、道路舗裝の經費は、道路改修費と分離し、費目を獨立せしむるを妥當としないか、との質問があつた。即ち舗裝は今後愈々増加の一途であるからいつまでも道路改修費の埒内に於て糺子扱ひをすべきでないと云ふ意見である。一面縣下舗裝熱の向上は、其の希望の陳情件數でも判る。即ち十二年度は十九件、九萬五千圓の申請が、十三年度では、二十九件、十九萬圓と云ふ數字に數へても判るであらう。

京都府

道路舗裝の必要性に於ては、既に一般府民の痛感せる所にして、本府に於ても毎年度府財政の許す範圍に於て之が實施を計畫しつゝあるの状態なり。昭和十四年度豫算に於

ては、幹線府縣道改良費を以て三ヶ所二十萬圓、一般國、府縣改修費に於て一ヶ所一萬五千圓を施行する計畫なり。併して今冬の府會に於ては、表面上特に道路舗裝に於ての論議はなかりしも、個々の要望は近時頓に増加し居るの實狀なり。

大阪府

本府に於ては、從來都市計畫事業又は幹線道路改良事業に於て、改築と併せ舗裝工事を施行し、其の他府縣道に付ても、交通量多きものより毎年路面舗裝を施工して來たのである。試みに昭和十三年度に於て見るも、都市計畫事業及び幹線道路改良事業に於て約八千料、路面改良事業に於て、十三千餘を施行して居るの實狀である従つて道路舗裝事業は遠くの昔からの府民の輿論であり熱望でもあるので、昨冬の府會では事新しく特別な論議はなかつたが、之れは最早や議論を離れて實行期に入つて居る證差であつて、府當局としては更らに府民の熱望に副ふ様努力を續けるのみで

ある。

兵庫縣

本縣に於ては、既定繼續道路改良費中に、毎年度約三十萬圓程度の鋪裝費を以て、着々其の實現に邁進しつゝ、あつたのであるが、十四年度に於ては、之を全部削除して仕舞つた之れは時局柄已むを得ないと云ふ理由らしいが、夫れこそ時局に對する認識不足の最も甚だしいもので、許すべからざる惡政であるが、果せるかな、此の大削減を憂ふる一部議員は、「國防上、産業上支障なきや」と力強く質問して居る。是に對し縣當局は、「眞に遺憾ながら不得止」とお挨拶を繰返して辛じて議案は可決せられた。

奈良縣

戰時平時を問はず極めて消極的政策に終始せる本縣が、而かも年々百數十萬圓の縣債を起して漸く歳出を賄ひ其の縣債の總額や既に一千數百萬圓を突破せる状態なり。幸ひ

速かに戰爭目的が遂行せられ東洋平和の基礎確立して輝かしき黎明の日を迎ふるも、本縣財政の更生を見ることは極めて困難かと思ふ。即ち法令に因る義務額の増加時代に適應すべき幾多の施設、或は年々襲來する災害復舊費、等累増に累増を重ねたる縣債の償還と、之が利拂の増加を加算する時は涙を呑んで更に縣債を起すか、將又縣民の擔稅力を越したる増稅を斷行せざる以外歳出を充たすべき歳入は他に絶無の實情に在ることは多言を要せざる所なり。

以上の如く危機に直面せる本縣財政の更生を計るべき方は、今日の場合最も緊急且つ重大なる問題なり此の意味に於て之が打開の方途は充分なる研究を要することは勿論なりと雖、先づ第一に道路の根本的改良と幹線の鋪裝整備、第二に年々百數十萬圓を要する災害復舊費の根絶を計るべく、所謂災害防止施設の完璧を期するは急務たるを確信する。

此れを具體的に説明せば、道路に於ては近時躍進的發展をなせる高速度機關を考慮に入れたる建設にあり、従つて

屈曲徒らに多く路面極めて狹隘勾配又驚くべき不定則、加ふるに舗装整備なき爲運輸の困難と機材の損傷、命數の短縮並にガソリンの過大なる消費等實に言語に絶するものがある。單なる一例を示せば、高田より大阪迄の里程四十粒、而して高田國境間僅かに十二粒を運行するに一時間と半を要し、残り二十八粒の大阪府地内を走るに勿驚三十分を費すのみの實情なり。日々六百數十臺の自動車の往復する損失を計示すれば、自動車一時間金二圓也として高田國境間の道路改修と舗装の完成に依り優に一時間を短縮する見込みなり。即ち之を計算せば六百臺の二圓として、年額四十三萬八千圓の損失を繰返しつゝある現情である。本縣の産業の上に及ぼす影響や蓋し大なるものあらん。時恰も戰時體制下にありて機材の暴騰、強度のガソリン統制より考察し、現時の如き惡道路の放置或は幹線の無舗装は反國策的政策なりと極言せざるを得ず。長期建設は道路の根本的改修と舗装にあることを當局は深く認識すべきなり。要するに道路の改良と其の舗装とは危機に直面せる本縣財政の更生

と、好轉を計るべき唯一の途なるに思ひを致されて、是非共明年度より之が完成に向つて邁進されんことを切望して止まぬ。

和歌山縣

當縣會に於ては、道路舗装の速成を齊しく熱望する所に於て、特に意見書として左記の通りの提出があつた。

○縣道甲號線御坊町地内及川上御坊線御坊町横町東町ノ舗装施工方ニ關スル意見

理由

縣道と歌山田邊線御坊町地内道路コンクリート舗装施工ハ現在町内ノ北部ヲ改修シアルモ現在改修南端カラ即チ南海信託會社御坊支店前カラ茶免橋北詰メマテ舗装改修並ニ乙號線川上御坊線御坊町地内横町カラ東町迄舗装改修ノ必要有リ速ニ施工實現ハガソリンノ消費節約都市美化、雨天ノ際砂礫ノ飛散防除ノタメ商店街整備上是非適當ト認ムルモノナリ府縣制第四十四條ニ依リ意見書及提出候也

昭和十三年十二月二十三日

和歌山縣會議長 成川善太郎

和歌山縣知事 吉永時次殿

○田邊町内縣道擴張ニ關ル意見書

理由

田邊停車場ヨリ同町榮町ニ到ル區間ノ縣道ハ幅員狹ク車馬ノ交通困難ナルノミナラズ雜踏ノ場合ノ危險甚シキヲ以テ田邊町ハ從來屢々是ガ擴張改善ヲ懇請セル處ナリ依テ速ニ同町湊本通りノ幅員擴張ヲ行ヒ併テ田邊驛ヨリ大字北新町西端（三栖口ヲ含ム）迄ノ鋪裝ヲ行ハレ度右府縣制第四十四條ニ依リ意見書及提出候也

昭和十三年十二月二十三日

和歌山縣會議長 成川善太郎

和歌山縣知事 吉永時次殿

鳥取縣

客冬の縣會に於ては、鋪裝問題に付特に論議せられたるものはなかつたが、從來より、府縣道米子境港線、米子皆生線、三朝上井停車場線及び倉吉津山線の鋪裝を急務として叫ばれつゝあり。

島根縣

昭和十四年度豫算の編成に付ては、國庫補助を伴ふ事業以外は起債不能の點より鋪裝工費を計上せざりし爲、別段論議はなかつた。

岡山縣

道路改良計畫は、誠に當を得たるもので、私は衷心より賛成するものである。併し原案には初めの四ケ年は百四十萬圓宛、終りの五ケ年は百六十萬圓宛とされてゐるが、之と反對に最初の五ケ年には百六十萬圓宛、終りの四ケ年には百四十萬圓宛を、年度支出を振替へて頂き度いのである。全縣道に於て改良、鋪裝を完了せんか、單に自動車關係のみに於ても驚くべき經費節約の數字を發見する。即ち燃料ガソリンに於て約二割の節約は一ケ年七十二萬ガロン、其の金額四十六萬八千圓。又車輛の耐久力に於て五割の節約となる。車輛數が縣下に四千臺、一臺平均二千圓としても

此の額八百萬圓、之が鎮却一ヶ月二十六萬六千圓のものが、其の半分の十三萬三千圓で濟み、一ヶ月百五十九萬餘圓の節約となり、前述の四十六萬八千圓を加へると、二百萬八千圓の資源愛護となり、之に自動車以外のものより生ずる資源消費減少額を合算すると優に五百餘萬圓にも及ぶのである。

此の數字より打算する時は、年々二百萬圓の縣費支辨額を此の方面に於て全部負擔しても相當利益となるが更に、其の年額支出の經費全部を道路損傷負擔金に求むるも尙ほ三百萬圓からの餘裕があるわけである。

如何なる犠牲を拂つても思ひ切つて豫算額を増加すべきである。即ち本豫算額二千萬圓は、その倍額の四千萬圓、或は五千萬圓に増加すべきである。

廣 島 縣

本縣に於ては、縣會は固より、地方に於ても道路鋪裝に關しては極めて熱意があり、一日も速に其の實現を要望し

つゝあるの状態である。縣の計畫は昭和十年度から十九年度に至る繼續事業としての道路改良費の中から交通運輸上最も緊急を要する區間を逐次鋪裝を實施しつゝある實情で、常時に於ける之が促進の陳情は誠に熱烈なるものが見受けられる。

山 口 縣

本縣に於ては從來から十萬圓乃至十五萬圓の道路鋪裝費を計上して居り、また縣會方面に於ても相當關心を持つて居るのであるが、客冬の縣會には別段の論議はなかつた。

德 島 縣

問 縣は從來より道路の鋪裝に力を注ぎ主要道路の鋪裝が漸次完成しつゝあるのは眞に結構な事であるが、尙將來もこの鋪裝を繼續して行ふ積りであるが、明十四年度の道路改良費豫算を見ます、ると大變減額して居る様であるが、この豫算にても、從來通の鋪裝工事を施行し得るや今後の

縣の方針を承りたし。

答 縣は今後も經費の許す限り道路の舗装を繼續して行ふ積りであるが、明年度豫算に相當の金額が計上出來ざりしは甚だ遺憾にて將來經費の増加其の他國庫補助等ある場合は、積極的に行ふ積りである。明年度に於ても實行すべき多少の舗装計畫を持つて居る。

香 川 縣

本縣の十四年度道路舗装費は、五萬六千圓であつて、勿論之を以て充分とは認め居らざるも、此の程度にて不得已ものと認め、別段の論議はなかつた。

愛 媛 縣

本縣に於ける道路舗装に關しては、數年前より特に縣會並地方民及運輸業者の要望熾烈なるものあり縣は之等に對應し舗装化の實現に積極的に努め實施中に付、客冬の縣會に於ては殊更らの論議はなかつた。

高 知 縣

高知市内の市道は、市に於て着々と舗装をして居る。然るに同市内の府縣道は、今に舗装するに至らない。縣財政が舗装を困難と爲すならば、寧ろ市道に編入せば市に於て急速に舗装を爲すと云ふ趣旨の質問があつた。

福 岡 縣

某議員により強調されたる舗装の要望は、縣民の總意を一層端的に表現せるものとして特筆に値する。即ち某議員は砂利道と舗装道とに於ける燃料の消費量及車輛其他の償却費を數字を擧げて詳細に比較論述し、舗装が實に文化的施設として重大意義を有するのみならず、現時局下に於ける燃料資材の觀點より國策遂行上喫緊の問題なる所以を力説し、縣は速に國府縣道の全般に互り舗装計畫を樹立し、是が實現に邁進し以て長期建設の國策に協力すべしと論じ、縣當局を鞭撻する處があつた。而して本提案が緊縮方

針の極枯の下に其實現を見るに至らなかつたとは云へ、本縣會に於ける最も傾聽に値する論議として議場の内外に多大の反響を興へた事は、今期縣會の收穫として且つ鋪裝問題今後の取扱に對する縣會其他の動向を示唆するものとして、極めて意義深きものであつた事を強調し得る。

佐賀縣

問 本縣の既設道路には鋪裝が少い、縣下幹線道路には近く鋪裝する考なきや。尙佐賀市より陸軍病院へ通ずる道路及嬉野海軍病院道路は一日も早く鋪裝すべきではないか。

答 本縣幹線道路の鋪裝に付ては調査を進めてゐる、實現に向つて努力して居るが財政の都合上未だ實現出来ないのは遺憾である。

長崎縣

從來道路改良繼續費中に三萬圓程度の局部改良費があつたのを鋪裝費に振替ふることとし、客冬の縣會で其の協賛

を経たのであるが、之に關聯して北松炭田が極めて好況に在る爲、砂利道では「ガソリン」國策の本旨に副はざるのみならず、輸送能力増進上寒心に堪へず至急鋪裝工事を施行せられたいとの要求があつた。

熊本縣

問 曩に二號國道中、熊本市より山鹿町に至る約十六哩の區間に對する鋪裝道路實現を要望せる處、熊本市より植木町約八哩の鋪裝の實現を見たるは沿道住民は勿論、自動車業者の喜びは言語に絶するものがある。然し鋪裝工事を此の儘に打切りとせず更に交通頻繁なる山鹿町迄延長鋪裝し道路交通の完壁を期せられたし。嘗て鹿本鐵道會社が某日午前七時より午後六時迄十一時間に互り、熊本市山鹿町間の自動車交通調査を行ひたるに、乗合自動車及トラツクの通過回数は二百二十五回にして、約三分間に一臺の割合に通過せり。今之を山鹿町より植木町迄約八哩の區間に於ける自動車走行哩數を見るに、千八百哩となり普通道路を

走行する所要ガソリン消費量は十哩に付、八ガロンを要す。然るに舗装道路を走行する消費量は〇、五ガロンにして砂利道及舗装區間に於て約四割を節減することとなるので、若し植木町より山鹿町に至る間を舗装すれば本區間に於て一日五千四百ガロンのガソリンの節約をなし、一ヶ月には千六百二十ガロン一ケ年には實に一萬九千四百四十ガロン、之を右に換算して四百八石二斗四升の驚くべき節約をなし得ることとなり、事變下に於けるガソリンの一滴は血液の一滴に匹敵し、且つ舗装による自動車の走行哩數の延長及タイヤの保存延長年限等を考へる時は、實に莫大なる金額に上ると思考せらる。縣は事變下國策に順應すべく急速に道路舗装の完成せられんことを切望するものである。

問 舗装の重要性を述べ縣下府縣道に付ては重要道路を全部舗装化し、産業の擴充並にガソリンの消費量の節約を期せられたい。

答 縣としては舗装計畫は樹立してはゐるが、重要縣道の舗装化は何と言つても事變が治り、縣財政の餘裕が出来る

か又は特に内務省の補助でも無い限りは仲々貧弱なる縣に於ては一定計畫に基く、大々的の舗装實現は困難である。内務省が如斯工事に對しても補助する様に考へて欲しいものである。

大 分 縣

本縣に於ては、從來六萬圓程度の舗装費を計上して、緊急な地點から施行して來たのであるが、此の如き少額では到底地方民の満足を得る能はずして、毎年の縣會に多くの陳情があつたのであるが、就中昨年の縣會では、別府市、大分市及臼杵町に於て、未舗装部分の國、府縣道を急速に施行して貰ひたいとの要望があつた。

宮 崎 縣

客冬の縣會に於ては、道路舗装問題に付ては、特別な論戰はなかつたが、都城聯隊前の國道及府縣道を速やかに舗装せねばならぬじやないか。といふ詰問的要求があつた。